

日医ニュース

No. 1318
2016. 8. 5

発行所 **日本医師会**
Japan Medical Association
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代) / FAX 03-3946-6295
E-mail www.info@po.med.or.jp
http://www.med.or.jp/
毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)

- 定例記者会見 3面
- 府県医会長紹介 4~5面
- 都道府県医師会だより 5面

横倉会長に聞く

「まちづくり」「人づくり」「組織づくり」を基本方針として 医療再興に向けた新たな一歩を踏み出す



横倉 義武 会長 (昭和19年生まれ、71歳)

昭和44年3月 久留米大医学部卒
 昭和44年4月 久留米大医学部第2外科入局
 昭和52年10月 西ドイツミュンスター大学教育病院
 テトモルト病院外科 (～昭和54年10月)
 昭和55年1月 久留米大医学部講師 (～昭和58年3月)
 平成2年4月 医療法人弘恵会ヨコクラ病院長
 平成9年4月 医療法人弘恵会ヨコクラ病院理事長 (～現在)

平成11年5月 中央社会保険医療協議会委員 (～平成14年4月)
 平成22年6月 社会保障審議会医療部会委員 (～平成24年4月)

昭和63年4月 大牟田監事 (～平成4年3月)
 平成2年4月 福岡県監事 (～平成10年3月)
 平成4年4月 大牟田監事 (～平成16年3月)
 平成10年4月 福岡県監事 (～平成14年3月)
 平成14年4月 福岡県副会長 (～平成18年4月)
 平成18年5月 福岡県会長 (～平成22年4月)
 平成22年4月 日医副会長 (～平成24年3月)
 平成24年4月 日医会長 (～現在)

今号では、6月25日に開催された第137回日本医師会定例代議員会で会長に選任・選定され、3期目を迎えることになった横倉義武会長に、会務遂行に当たった3つの方針の意味や、医療に係る諸問題に関して、現時点での考え等について話を聞いた。

(聞き手：道永麻里常任理事 7月6日会長室にて)

道永 まずは、会長としての2期4年間の振り返り、感想などをお聞かせ下さい。

横倉 「継続と改革」「地域から国へ」というスローガンを掲げ、会長に就任してから約4年、さまざまな社会の変化を実感しながら、会員の皆様を始め、多くの方々のご支援とご協力を頂きながら、会務に邁進して参りました。

また、社会保障の議論に当たっては、「国民の安全な医療に資する政策か」「公的医療保険による国民皆保険は堅持できる政策か」という2つの判断基準の下で、保健・医療・福祉における主導的立場を担い、「国民と共に歩む専門家集団」として、常に高い見識をもって変革に当たって参りました。

この4年間は、次から次へと問題が現れ、日々その対応に追われていたもので、今から思えば、あっといふ間の4年間で受講して頂きました。また受講されていない先生方にはぜひ、受講して頂きたいと思っております。

道永 前期2年間で特に印象に残っていることはありますか。

横倉 今年4月に都道府県医師会を実施主体として「日医かかりつけ医機能研修制度」を開始できたことは、大変大きな出来事でした。本制度は「かかりつけ医機能」のあるべき姿を会員数調査においても

評価し、その能力を維持・向上するために開始したのですが、5月に日医会館で開催した「日医かかりつけ医機能研修制度」平成28年度応用研修会」には、テレビ会議での受講者を含めて全国で約6000名の先生方に受講して頂きました。また受講されていなかった先生方にはぜひ、受講して頂きたいと思っております。

また、前期の医師会組織強化検討委員会が取りまとめた提言を基に、研修医の会費減免(無料化)を実施できたことも大きな成果であったと思っております。減免の効果は、昨年12月1日現在の日医

定程度表れてきており、今後の推移を見守っていききたいと思っております。

個人的には、平成27年4月にダライ・ラマ法王を日医会館にお招きできたことも大変印象に残っています。医療者を「人の苦痛を除き、人のために尽くす菩薩のような人」と言って頂いたことなどは、今でも忘れることができません。

道永 今期の会務についてですが、先の第138回臨時代議員会の所信表明で、会長は3つの方針を掲げました。改めて、その意図などを説明頂けますか。

横倉 私には、変わらぬ思いがあります。それは、国民の健康寿命を世界トップレベルにまで押し上げてきたわが国の医療システムが、世

界が経験したことのない高齢社会を「安心」へと導く世界モデルとなり、この優れた医療システムを世界に発信することで、世界中の人々の幸福の実現に貢献したいという思いです。

そのために、今回、「かかりつけ医」を中心とした「まちづくり」、変革期を担う人材育成の視点にたった「人づくり」、そして、医療政策をリードし続ける強い医師会への「組織づくり」の3つを基本方針とすることをしました。

また、この基本方針に対して、Action、Barrier、Challengeという3つの基本姿勢で臨むことにより、医療再興に向けた新たな一歩を踏み出したと考えています。

まず、「かかりつけ医」を中心とした「まちづくり」に関して、

現在、わが国では各地で過疎化が進んでいます。そんな過疎地においても、国民が住みやすいまちづくりを進めていきたいと思っております。

具体的には、第7次医療計画を見据え、地域包括ケアの仕組みの中で、機能分化された医療提供体制がまちづくりに資するものになるよう、各地域の医師会との緊密な連携を通じて支援していきたいと考えています。

また、かかりつけ医の重要性が増していく中



ダライ・ラマ法王来日記念講演会



日医かかりつけ医機能研修制度 平成28年度応用研修会

で、真に国民が求める、かかりつけ医機能を充実させ、地域包括ケアや在宅医療推進の大きな流れに沿った取り組みをより強化していきたいと思っております。

更に、4月に発生した「平成28年熊本地震」のような大規模災害や感染症パンデミックなど、さまざまな局面に迅速に対応していくため、JMA T活動を深化させるとともに、地域の自治体・医師会が県内・外を問わず相互に支援できるような体制づくりも進めて参ります。

次に、変革期を担う人材育成の視点に立った「人づくり」についてですが、医療の進歩などによって、これからの医療は変革期を迎えます。そのような中で、どういった人材が必要なのかを考え、それに沿った人づくりに取り組んでいきたいと考えています。

中でも、時代の要請に応じた、若手医師の育成とその成果を引き出すための環境整備は大変重要な事項です。日医では、全国医学部長病院長会議と共に医師の養成と配置に関する提言を取りまとめましたが、今後も生涯教育制度の充実を図りつつ、日本医学会や関係団体とも協議を重ね、より良い医師育成のあり方についても議論を深めていきたいと思っております。

3番目の「組織づくり」については、地域包括ケアの構築が進められる中で、各地域では医師会と市町村行政との協力が強固になってきています。そういう状況ですが、医療の進歩などによって、これからの医療は変革期を迎えます。そのような中で、どういった人材が必要なのかを考え、それに沿った人づくりに取り組んでいきたいと考えています。

また、これまでも独自の情報収集・分析に注力してきましたが、今後の医療提供体制を見据えた上で、その機能の更なる強化に努めると同時に、地域の医師会の情報収集・分析を支援する方策についても検討していきたいと考えています。

道永 人づくりに関して言えば、新たな専門医の仕組みの問題もありま

（2面）続



四病協の各団体の会長と共に行った緊急記者会見

（1面より）
すね。
横倉 この問題は、元々、医師のプロフェッショナルオートノミーをもって、国民に更なる安心を約束するための取り組みのほうでした。

しかし、当初の案のままでは、指導医を含む医師及び研修医が、都市部の大病院など大規模な急性期医療機関に集中し、地域偏在が更に拡大する懸念が強く、このままでは地域医療の現場に大きな混乱をもたらすのではないかと危惧する声が多く、先生方から寄せられました。

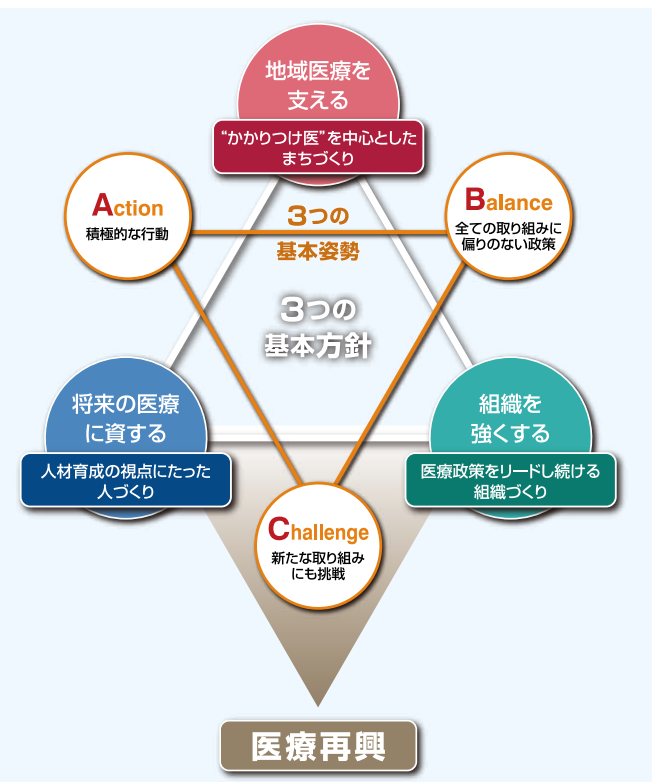
そのため、6月7日に四病院団体協議会の各団体の会長と共に緊急記者会見を行い、ここは一度立ち止まり、広く関係者の意見を聞き、地域医療

を崩壊させることがないよう、十分配慮した上で、専門医研修を始めるべきとの考えを表明いたしました。

新たな仕組みづくりに向けた歩みを止めるのも、また勇気がいることです。しかし、拙速がもたらす混乱により、国民に迷惑を掛けるようなことは断じてあってはなりません。なぜなら、医療は国民のものであるからです。

日本専門医機構も新たな執行部が誕生し、今後は、地域医療、公衆衛生、地方自治、更には患者・国民の代表による幅広い視点も加えて、早急な検討が進められることとなりますが、日医としても地域医療を守る立場から意見を述べていきたいと思

道永 専門医で言いますと、かかりつけ医と総合診療専門医の関係についてはいかがですか。
横倉 かかりつけ医は、日本の医療提供体制の土台を支える最も重要な役割を担うものです。一方、総合診療専門医ですが、これはあくまでも学問的な評価によるものであると考えています。私は、総合診療専門医のキャリア



適切な医療が提供できる報酬体系の構築を目指す

道永 その他、会員の先生方の関心の高い事項について現時点での考察をお聞きしたいと思います。

まず、「診療報酬・介護報酬の同時改定」についてはいかがですか。
横倉 国の財政が厳しい状況にある中で、2年後に迎える「診療報酬・介護報酬の同時改定」は大変厳しいものになると考えられ、財務省などからは、昨今の医療費の伸びを理由として、大幅な診療報酬・介護報酬の引き下げが提案されてくることが想定されます。しかし、実際の医療費

コスト意識をもった処方箋を掲載すること等を求めているかと思えます。次期診療報酬改定では、超高齢社会に対応する上で最重要課題である地域包括ケアシステムの確立に向けて、全国津々浦々まで、かかりつけ医が中心となって医療と介護が連携し、国民に適切な医療・介護が提供できるような報酬体系を構築していくことが大事になると考えています。

の伸びを見ると、2011年に税と社会保障の一体改革が話し合われた時、2015年度の医療費推計は45兆2000億円とされていましたが、実際には41兆6000億円に抑えられています。これは医療側の努力によるところが大きいと認識していますが、財政主導ではなく、医療側から医療費の適正化に向けた提言を引き続き行っていくことが重要であると考えています。

また、それに加えて、「医学・医療の進歩に伴う新技術の保険適用」や「医師の基礎的な技術の再評価」など、医師の技

術が適切に評価されるような働き掛けも、引き続き行って参ります。一方、介護報酬についても、高齢者がますます増加の中で、介護現場の人材確保並びに処遇の改善、更には認知症対策、中重度者への対応や多職種連携を推進していくことが重要になると考えています。

前回の改定では、認知症患者や小児へのかかりつけ機能の評価を拡大することができましたが、外来機能分化の観点から、次回もその評価を求めていきたいと思

また、それに加えて、「医学・医療の進歩に伴う新技術の保険適用」や「医師の基礎的な技術の再評価」など、医師の技

まな提言を行っていきたく思っています。
道永 6月1日には、安倍晋三内閣総理大臣が平成29年4月に予定していた消費税率10%への引き上げを2年半再延期することを表明されましたが、「医療における消費税問題」についてはいかがですか。

この再延期によって、社会保障費の財源の確保が大きな課題になっていますが、医療界の税制上の最大の課題である控除対象外消費税問題についても、「その解決が2年半先送りされるのではないかと」危惧する声も聞かれます。

このことは、日医が以前より推進している取り組みとも合致するものであり、今後も、より良い制度となるよう、さまざま

定した平成28年度税制改正大綱では、「医療に係る消費税等の税制のあり方については、消費税率が10%に引き上げられることが予定される中、中略）平成29年度税制改正に際し、総合的に検討し、結論を得る」と、この問題を解決する年限が初めて明記されたところでもありますし、増税時期が延期されたからといって、解決へ向かっての歩みを先延ばしするわけにはいきません。

本年12月を目途に与党が取りまとめる平成29年度税制改正大綱において、問題解決へ向けた具体的な措置が講じられるよう、今後も活動を継続していきたいと思

その後間もなく、母の病気を抱えて防空壕に避難したという話を聞いています。当時の国民皆保険もありませんでしたから、医療費を払えずに困っている人をたくさん見ま

「国民の健康・生命を守る」
道永 これまでは日医の政策の中心にお話を伺ってききましたが、会長自身のことをよく知って頂くために、会長の生い立ちなどについてもお話し頂けませんか。
横倉 私は横倉家の次男として、福岡市で生まれました。ちょうど、第二次世界大戦の真っ只中で、生まれてすぐ福岡に大空襲があり、母親は私を抱いて防空壕に避難したという話を聞いています。

で疎開したのですが、軍医であった父は、そこで診療をしていました。終戦を迎え、父がいざ福岡に帰ろうとした時に、村には若い医師がいなかったため、村に残って欲しいと言われ、村議会では残留を求めた決議が出されるほどでした。結局、父はそこで診療を続けることになり、私もそこで幼少期を過ごすことになりました。

日 医

45の会内委員会を設置 「医師会将来ビジョン委員会」が復活

日医はこのほど、平成28年度の会内委員会として、日医3大会議（医療政策会議、学術推進会議、生命倫理懇談会）を始め、45の委員会（8のプロジェクト委員会を含む）を設置することを決めた。今回は、新設の委員会はないものの、将来の医師会を担う若手の医師による「医師会将来ビジョン委員会」（担当：今村定臣常任理事・総務課）を復活させた。

また、現在、健康食品に関する問題が数多く報

道されるようになってい

横倉 横倉義武会長は、この

横倉義武会長は、7月

横倉義武会長は、7月

横倉義武会長は、7月

道永 会長が若い時に

横倉 私は次男でした

道永 医師会と関わる

横倉 「和して同ぜず」

横倉 熊本地震の際に

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 医師会と関わる

横倉 私は次男でした

道永 医師会と関わる

横倉 「和して同ぜず」

横倉 熊本地震の際に

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 医師会と関わる

横倉 私は次男でした

道永 医師会と関わる

横倉 「和して同ぜず」

横倉 熊本地震の際に

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 医師会と関わる

横倉 私は次男でした

道永 医師会と関わる

横倉 「和して同ぜず」

横倉 熊本地震の際に

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 医師会と関わる

横倉 私は次男でした

道永 医師会と関わる

横倉 「和して同ぜず」

横倉 熊本地震の際に

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます



自見はなこ 参議院議員

日医on-line

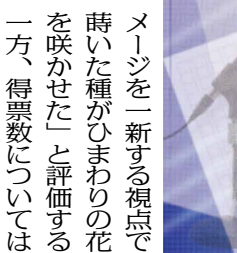
ニュースポータルサイト「日医on-line」では定例記者会見の映像等、さまざまな情報をご覧いただけるようになっています。ぜひご活用下さい。

<http://www.med.or.jp/nichiionline/>

日 医 定例記者会見

7月13日

第24回参議院議員選挙の結果を受けて



梅ツを一新する視点で

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

道永 ありがとうございます

府県医会会長紹介

今号では、今年改選期を迎えた1府33県の医師会長の略歴を紹介する。



齊藤会長4期目へ

(青森県医)



6月11日の定例代議員会で齊藤勝

齊藤会長は昭和12年秋田県の出身。昭和37年弘前大を卒業、現在青森市で内科小児科医院を開設。青森市医学会、県医理事を経て、平成22年現職に就任。79歳。

石川会長14期目へ

(岩手県医)



6月4日の定例代議員会で石川育

成現会長を選定した。石川会長は昭和5年岩手県の出身。昭和30年岩手医大を卒業、現在盛岡市で外科麻酔科クリニックを開設。県医常任理事・副会長を経て、平成4年現職に就任。85歳。

嘉数会長3期目へ

(宮城県医)



6月29日の定例代議員会で嘉数研

二現会長を選定した。嘉数会長は昭和18年宮城県の出身。昭和44年日大を卒業、現在仙台市で整形外

小玉氏を選定

(秋田県医)

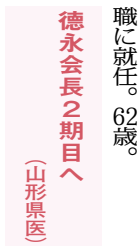


6月18日の定例代議員会で小玉弘

小玉新会長は昭和28年山形県の出身。昭和63年北里大を卒業、現在潟上市で整形外科医院を開設。県医常任理事を経て、平成28年現職に就任。62歳。

徳永会長2期目へ

(山形県医)



5月28日の定例代議員会で徳永正

徳永会長は昭和17年山形県の出身。昭和42年東北大学医学部を卒業、現在山形市で整形外科医院を開設。山形市医学会、県医監事を経て、平成26年現職に就任。74歳。

高谷会長4期目へ

(福島県医)

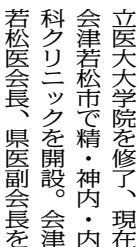


6月5日の定例代議員会で高谷雄

三現会長を選定した。高谷会長は昭和13年東京都の出身。昭和44年福島県立医大大学院を修了、現在会津若松市で精神・神経内科クリニックを開設。会津若松医会会長、県医副会長を経て、平成22年現職に就任。77歳。

須藤氏を選定

(群馬県医)

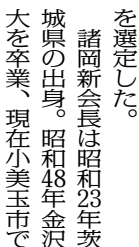


6月23日の定例代議員会で須藤英

須藤新会長は昭和27年群馬県の出身。昭和51年東京医大を卒業、現在安中市で外科病院を開設。県医理事・副会長を経て、平成28年現職に就任。64歳。

諸岡氏を選定

(茨城県医)

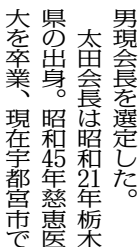


6月17日の定例代議員会で諸岡信

諸岡新会長は昭和23年茨城県の出身。昭和48年金沢大を卒業、現在小美玉市で内・呼・消化器科病院を開設。県医常任理事・副会長を経て、平成28年現職に就任。68歳。

太田会長4期目へ

(栃木県医)

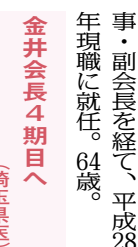


6月18日の定例代議員会で太田照

男現会長を選定した。太田会長は昭和21年栃木県の出身。昭和45年慈恵医大を卒業、現在宇都宮市で内科病院を開設。県医常任理事・副会長を経て、平成22年現職に就任。70歳。

須藤氏を選定

(新潟県医)

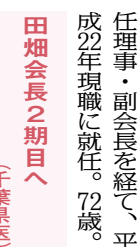


6月16日の定例代議員会で金井忠

金井会長は昭和19年東京都の出身。昭和45年横浜市立大を卒業、現在所沢市で肛門科病院を開設。県医常任理事・副会長を経て、平成22年現職に就任。72歳。

田畑会長2期目へ

(千葉県医)

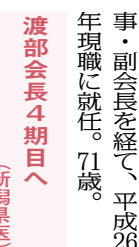


6月12日の定例代議員会で田畑陽

一郎現会長を選定した。田畑会長は昭和20年鹿児島県の出身。昭和46年千葉大を卒業、現在東金市その他で外・人工透析外科内科クリニックを開設。県医理事・副会長を経て、平成26年現職に就任。71歳。

渡部会長4期目へ

(新潟県医)



6月11日の定例代議員会で渡部透現会長を選定し

渡部会長は昭和27年群馬県の出身。昭和51年東京医大を卒業、現在安中市で外科病院を開設。県医理事・副会長を経て、平成28年現職に就任。64歳。

今井会長2期目へ

(山梨県医)



6月9日の定例代議員会で今井立

史現会長を選定した。今井会長は昭和15年山梨県の出身。昭和41年順天堂大を卒業、現在甲府市で整形外科医院を開設。甲府市医理事・会長を経て、平成26年現職に就任。75歳。

小林会長6期目へ

(岐阜県医)



6月12日の定例代議員会で小林博

小林会長は昭和20年滋賀県の出身。昭和46年岐阜大医学部を卒業、現在各務原市で内科医院を開設。県医常務理事を経て、平成20年現職に就任。70歳。

篠原会長2期目へ

(静岡県医)

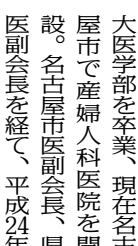


5月28日の臨時代議員会で篠原彰

現会長を選定した。篠原会長は昭和22年静岡県の出身。昭和50年東京医大を卒業、現在焼津市で内

榎木会長3期目へ

(愛知県医)

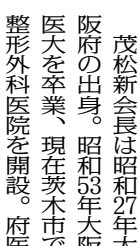


5月21日の臨時代議員会で榎木充

明現会長を選定した。榎木会長は昭和23年愛知県の出身。昭和48年名古屋大医学部を卒業、現在名古屋市中で産婦人科医院を開設。名古屋市中区副会長、県医副会長を経て、平成24年現職に就任。67歳。

茂松氏を選定

(大阪府医)

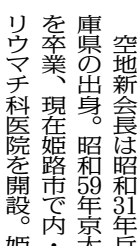


5月28日の臨時代議員会で茂松茂

茂松新会長は昭和27年大阪府の出身。昭和53年大阪医大を卒業、現在茨木市で整形外科医院を開設。府医理事・副会長を経て、平成28年現職に就任。64歳。

空地氏を選定

(兵庫県医)

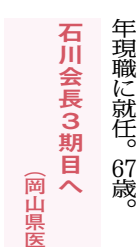


4月17日の臨時代議員会で空地顕

一(そらちけんいち)氏を選定した。空地新会長は昭和31年兵庫県の出身。昭和59年京大を卒業、現在姫路市で内・リウマチ科医院を開設。姫路市医学会、県医理事・常任理事を経て、平成28年現職に就任。60歳。

魚谷会長3期目へ

(鳥取県医)

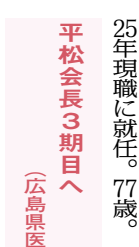


6月18日の定例代議員会で魚谷純

魚谷会長は昭和24年鳥根県の出身。昭和50年鳥取大を卒業、現在米子市で眼科医院を開設。県医常任理事・副会長を経て、平成25年現職に就任。67歳。

石川会長3期目へ

(岡山県医)



5月15日の臨時代議員会で石川紘

石川会長は昭和14年中国東北部の出身。昭和40年岡山大を卒業、現在倉敷市で産婦人科医院を開設。県医理事・副会長を経て、平成25年現職に就任。77歳。

平松会長3期目へ

(広島県医)



6月12日の定例代議員会で平松恵

一現会長を選定した。平松会長は昭和16年広島県の出身。昭和41年広島大を卒業、現在広島市で整形外科内科病院を開設。広島市医副会長・会長、県医常任理事を経て、平成24年現職に就任。75歳。

河村氏を選定

(山口県医)



6月16日の定例代議員会で河村康

河村新会長は昭和24年山口県の出身。昭和53年東邦大医学部を卒業、現在光市で循環器神経内科医院を開設。県医理事・専務理事を経て、平成28年現職に就任。66歳。

久米川会長2期目へ

(香川県医)



5月26日の臨時代議員会で久米川

啓現会長を選定した。久米川会長は昭和29年香川県の出身。昭和53年東京医大医学部を卒業、高松市で外・消化器外科病院を開設。県医理事・副会長を経て、平成26年現職に就任。62歳。

久野会長8期目へ

(愛媛県医)



6月19日の定例代議員会で久野梧

郎現会長を選定した。久野会長は昭和19年愛媛県の出身。昭和44年徳

齋藤氏を選定

(徳島県医)



6月2日の定例代議員会で齋藤義

明(かわむらやすあき)氏を選定した。河村新会長は昭和24年山口県の出身。昭和53年東邦大医学部を卒業、現在光市で循環器神経内科医院を開設。県医理事・専務理事を経て、平成28年現職に就任。66歳。

日本医師会
総務課(人事・労務) 03-3942-6493・総務課 03-3942-6481
介護保険課 03-3942-6491・年金・税制課 03-3942-6487
生涯教育課 03-3942-6477
03-3942-6477・施設課 03-3942-7027
03-3942-7027・経理課 03-3942-6486
03-3942-6486・広報課 03-3942-6483
03-3942-6483・情報システム課 03-3942-6480
03-3942-6480・情報サービス課 03-3942-6440
03-3942-6440
03-3942-6440・国際課 03-3942-6489

▽島大医学部を卒業、現在松山市で内科医院を開設。県医代議員会議長・副会長を経て、平成16年現職に就任。72歳。

岡林会長4期目へ
(高知県医)



6月11日
日の定例
代議員会
で岡林弘
毅現会長を選定した。

岡林会長は昭和18年高知県出身。昭和44年群馬大医学部を卒業、現在高知市で消・内・外科クリニックを開設。高知市医会長、県医副会長を経て、平成24年現職に就任。73歳。

松田会長4期目へ
(福岡県医)

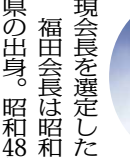


6月16日
日の定例
代議員会
で松田峻
一良現会長を選定した。

松田会長は昭和23年福岡県出身。昭和52年聖マリアンナ医大を卒業、現在福岡市で内科医院を開設。県医常任理事を経て、平成20年現職に就任。75歳。

岡市で耳鼻咽喉科病院を開設。県医理事・専務理事を経て、平成22年現職に就任。68歳。

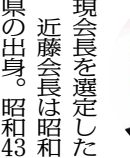
池田会長4期目へ
(佐賀県医)



5月26日
日の定例
代議員会
で池田秀
夫現会長を選定した。

池田会長は昭和17年佐賀県出身。昭和43年久留米大医学部を卒業、現在佐賀市で内科医院を開設。県医専務理事・副会長を経て、平成22年現職に就任。74歳。

藤本会長5期目へ
(長崎県医)



5月22日
日の臨時
代議員会
で藤本恭
現会長を選定した。

藤本会長は昭和19年長崎県出身。昭和43年久留米大医学部を卒業、現在長崎市で病院を開設。県医常任理事を経て、平成20年現職に就任。70歳。

に就任。72歳。

福田会長4期目へ
(熊本県医)

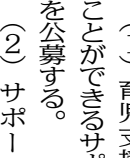


6月18日
日の定例
代議員会
で福田福
田現会長を選定した。

福田会長は昭和21年熊本県出身。昭和48年久留米大を卒業、現在熊本市で産婦人科病院を開設。熊本県医会長、県医代議員会議長を経て、平成22年現職に就任。70歳。

河野会長は昭和20年宮崎県出身。昭和45年鹿児島大医学部を卒業、現在宮崎市で整形外科医院を開設。県医常任理事・副会長を経て、平成26年現職に就任。71歳。

池田会長5期目へ
(鹿児島県医)



5月28日
日の臨時
代議員会
で池田琢
哉現会長を選定した。

池田会長は昭和21年鹿児島県出身。昭和46年日医大を卒業、現在鹿児島市で小児科病院を開設。県医常任理事・副会長を経て、平成22年現職に就任。69歳。

安里氏を選定

安里氏を選定
(沖縄県医)



5月26日
日の臨時
代議員会
で安里哲
好(あさとてつよし)氏を選定した。

安里新会長は昭和25年沖縄県出身。昭和52年山口大を卒業、現在中城村の病院の理事長。県医理事・常任理事・副会長を経て、平成28年現職に就任。65歳。

都道府県医師会だより

「群馬県医師会保育サポーターバンク」について

群馬県医師会

医師不足の要因に女性医師の増加とその途中離職が少なからず関連しており、女性医師の就業継続をサポートすることは医療界の懸案でもあり、社会的要請にもなっている。

そこで、群馬県医師会では、平成24年5月に群馬県医師会保育サポーターバンク(以下「バンク」)を設置した。

目的は、育児支援を必要とする県内女性医師に對して、子育て医師保育支援相談員(以下「相談員」)が、そのニーズに沿った保育サポーター(以下「サポーター」)の

情報提供・紹介を行うことにより、出産・育児を理由とした離職防止を図ることにある。

バンクの運営は保育サポーターバンク運営委員会(以下「委員会」)が当たると同時に必要なる協議を行っている。

財源としては、地域医療再生基金と地域医療介護総合確保基金を活用している。

バンクの方針としては、子育て医師は継続的かつ長期的な支援を必要とするところが多いと思われるので、可能な限り同一のサポーターが支

群馬県医師会 保育サポーターバンク

保育サポーターバンクとは？

支援の流れ

保育サポーターバンク概要

支援申し込み

サポーター登録

利用者の声

リンク

保育サポーターバンクの目的

保育サポーターバンクの仕組み

お問い合わせ 080-1115-4176
月～金曜日(祝日を除く) 10:00～16:00

援を行うことを原則としている。

サポーターが行う支援の内容は、基本的には、サポーターが保育と併せてできる範囲であれば制限はなく、両者の合意に基づいて決定する。

具体的な支援内容としては、子どもの預かり保育(サポーター宅または子育て医師宅)、子ども送迎(保育施設などへ)、病児・病後児保育、家事支援などである。

サポーターによる支援活動については、以下の手順で進めている。

(1) 育児支援を行うことができるサポーターを公募する。

(2) サポーターは、支援活動に当たって、保育サポーター研修会を受講する。

(3) 支援を必要とする子育て医師は、相談員へ連絡する。

(4) 相談員は、バンク登録者の中から、女性医師の要望に合うサポーターを2～3名探し、子育て医師に紹介する。1人の子育て医師に対しサポーターがチーム体制で支援することで、発熱等の急な呼び出しにも対応可能とする。

(5) サポーター候補者と子育て医師が面談し、要望の確認、支援内容の確認、報酬等の決定を行う。なお、報酬に関しては、相談員よりモデル単価に関する情報を提供する。面談の日時等の調整は相談員が行う。面談には要請があれば相談員が立ち会う。サポーター決定後は、当事者同士で協議して進める。

(6) 子育て医師は、医師である保護者の判断の下、病児・病後児を預ける時は、病児依頼連絡票に必要事項を記載してサポーターに依頼する。

(7) 相談員は、バンクの活用状況を適宜委員会へ報告する。

(8) 必要に応じてサポーターの資費向上のための研修会を開催する。

助成制度については、子育て支援助成制度(利用医師に県医師会から利用料金の一部を助成)、緊急時タクシー利用助成制度、チャイルドシート・ユニフォームの貸与制度、サポーターを対象とするインフルエンザ予防接種料金の助成制度などがある。

万が一の事故に備えて、子育て援助活動補償保険(サービス提供会員傷害保険、依頼子ども傷害保険、賠償責任保険)に加入している。

平成28年4月現在、登録医師数は107名、登録サポーター数は141名、平成27年4月から平成28年3月までの延べ利用時間数は1万3014・5時間となり、子育て医師の就業継続に高い効果を上げている。

パネルディスカッション「スマホ時代を賢く生きる」を開催

ICT普及による子ども達への新たな影響について活発に議論

パネルディスカッション「スマホ時代を賢く生きる」困っていませんか?子どものスマホ...!? 子どものスマホ... (主催:日本小児連絡協議会、共催:日医)が7月2日、日医会館大講堂で開催された。

冒頭あいさつした道永麻里常任理事(学校保健担当)は、「ネットの普及は子ども達の健康に悪影響を及ぼすだけでなく、いじめや不登校、引きこもりの引き金にもなる」と言われており、早急な対応が求められている」としては、「これらの課題を共有し、子ども達

引き続き、講演4題が行われた。内海裕美日本小児科医学会理事(子どもとメディア委員会担当)は、スマートフォンなどの普及によって、人との関わりが薄れたことで、成長に必要な「眠ること」「食べること」「遊ぶこと」「愛されること」が不足し、体力低下、学力低下、コミュニケーション力不足などの問題が現代の子ども達には起きていると指摘。その上で、子ども達を健やかに育てていくためにも、大人達は自身にとって便利なものでも、

子どもにはそれが悪影響を及ぼすこともあるという認識の下、その対応策を真剣に考えていかなければならないと訴えた。山縣然太郎山梨大学大学院総合研究部医学域基礎医学系社会医学講座教授は、スマートフォン等の過度な使用により、子ども達の健康への影響が懸念される中で、国や地域の取り組みを紹介。文部科学省が2014年に公表した『児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック』にスマートフォン等の

日医では、医師だけでなく国民に、「医療に関する専門家集団」である日医をより身近で親しみのある団体として認知してもらうことを目的として、新キャラクターのデザインを募集しています(8月31日必着)。募集に当たっては、日医会員のみならず、広く一般国民(プロ・アマ不問)を対象とします(11月頃には新キャラクター1点を決定する予定)。奮って、ご応募下さい。詳しくは日医ホームページ(http://www.med.or.jp/chara/)をご覧ください。

日医の 新キャラクター デザイン募集! 締め切り迫る!

応募・問い合わせ先 日医広報課 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 ☎03-3942-6483(直)

が賢く生きるためにはどうすればいいのか、一緒に考え、一人ひとりが行動するきっかけにして欲しい」と述べた。

続いてあいさつした岡田知雄前日本小児保健協会会長は、日本小児連絡協議会(日本小児保健協会、日本小児科学会、日本小児科医学会、日本小児期外科系関連学会協議会の4団体で構成)の「子どもとICT」子ども達の健やかな成長を願って「委員会が昨年1月に公表した「子どもとICTの問題」について

の提言」の内容を紹介するとともに、「中高生の8・9%、52万人もいると言われるネット依存症などの問題点とその対応策について、専門家を交えて議論していきたい」とし、忌憚のない意見を求めた。

喚起がなされていないことに懸念を示すとともに、ネット依存症になる前に、地域全体で過度な使用を止めさせる取り組みを行うことが重要になると強調した。



日本小児科学会、日本小児科医学会、日本小児期外科系関連学会協議会の4団体で構成)の「子どもとICT」子ども達の健やかな成長を願って「委員会が昨年1月に公表した「子どもとICTの問題」について

樋口進独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター院長は、子ども達のネット依存症の症状を解説するとともに、本人が自分の意思で行動を変えていくように支援していくことが治療の基本になると説明。現在のネット依存症をめぐる問題点としては、①ITの使用促進が優先され、対策が遅れている②ネット使用やネット製品提供側への規制がない③疾病の概念が未確立④専門医療機関が少ない——ことなどを挙げ、その改善を求めた。

坪田一男慶應義塾大学病院眼科診療部長は、眼科医の立場から、スマートフォンへの依存の問題点として、①太陽光を浴びることが少なくなることで近視になりやすい(重度の近視の場合は失明の可能性もある)②ブルーライトを浴び続けることで体内時計が狂い、不眠症、うつ、高血圧になりやすくなるだけでなく、がんの発症率も高まる——ことがあると指摘。その解決策として、「昼間の屋外活動を増やすとともに、夜間のスマホ使用を極力控えて欲しい」と呼び掛けた。

南から北から

北海道
北海道医報
第1163号より

「刺身醤油」ありますか？

松井 寛輔

私は、美味しい日本酒を味わいながら、ひと皿の新鮮な鯛の刺身を食べることをごくよく愛している。だから、私にとって日本酒はもちろんなこと、刺身につける醤油の味も重要である。

5年前、私は大分県から道東の美幌町へ転動した。この好機を利用して、これまで訪れたことのない日本海側を、妻と2人車で北上し北海道に向かうことにした。

九州から山陰に入り、数日かけて鳥取砂丘や城崎温泉、天橋立、兼六園などを訪れる。そして富山市にたどり着いた日のことである。宿でチェックインを済ませた私達は、早速、近くの居酒屋のれんをくぐり刺身を注文した。ふとテーブルに刺身の醤油がないことに気づき、店員に「刺身醤油はないですか」と聞くと、店員は首をかしげテーブルに置いてある普通の醤油瓶を指さす。この時、初めて「刺身醤油」が全国共通語ではないことに気づいたのである。しかたなく刺身に普通の

九州から山陰に入り、数日かけて鳥取砂丘や城崎温泉、天橋立、兼六園などを訪れる。そして富山市にたどり着いた日のことである。宿でチェックインを済ませた私達は、早速、近くの居酒屋のれんをくぐり刺身を注文した。ふとテーブルに刺身の醤油がないことに気づき、店員に「刺身醤油はないですか」と聞くと、店員は首をかしげテーブルに置いてある普通の醤油瓶を指さす。この時、初めて「刺身醤油」が全国共通語ではないことに気づいたのである。しかたなく刺身に普通の

の8割を独占し、北海道では9割以上である。

一方、関西では当時、大豆に小麦ではなく米を糖化させたものを混ぜて、色の薄い「淡口醤油」を作った。北陸地方では上方からのこの淡口醤油の影響が強いようだ。九州は、長崎を通じて海外から、あるいは琉球から砂糖を手に入れやすかったことで、甘みの強い濃口醤油が好まれている。特に、甘みやうまみなどを多く加えてとろりとさせたものが、あの「刺身醤油」で、九州では刺身には欠かせないものとして広く普及している。

また、私の妻の故郷である山口県柳井市には「甘露醤油」という刺身醤油が江戸時代からあった。柳井市で育った妻を持ち、九州に住んでいた私は、これらの「刺身醤油」が全国共通でないばかりか、極めてローカルなものであったことに初めて気づいたのである。ところで、この刺身醤油の素晴らしきところは、その味の良さだけでなく、刺身の持つ生臭さを完璧に包み込んで消去してくれるところにある。ご存知かと思うが、日本料理の刺身とワインは、知れど相性が悪く、口の

また、私の妻の故郷である山口県柳井市には「甘露醤油」という刺身醤油が江戸時代からあった。柳井市で育った妻を持ち、九州に住んでいた私は、これらの「刺身醤油」が全国共通でないばかりか、極めてローカルなものであったことに初めて気づいたのである。ところで、この刺身醤油の素晴らしきところは、その味の良さだけでなく、刺身の持つ生臭さを完璧に包み込んで消去してくれるところにある。ご存知かと思うが、日本料理の刺身とワインは、知れど相性が悪く、口の

中で魚の生臭さが何倍にも膨れ上がる。これはワインの中の鉄分と関連があり、魚の油分と鉄分が反応して、生臭い成分が瞬時に増えるためである。生魚をワインと一緒に食す時は、魚をオリーブオイルで処理しておく。と大丈夫だそうである。しかし、刺身をオリーブオイルで処理してしまっただけでは、もはや刺身とは言えない。刺身醤油をつけ、日本酒とともに食すことで、魚の臭いは全く気にならなくなるのである。これまでも何となく、当り前のように「日本酒、それに刺身と醤油」を味わっていたが、実は長い日本の歴史の中で、先人たちの深い知恵から生まれた最高の食べ方だったのである。(一部省略)

宮崎県
日州医事
第793号より

読書の楽しみ

野村 朝清

最近ひそかに始めたことがある。それは数学の本を読むことだ。高校の数学の知識でも読みこなせる数学の名著と聞いて、ずっと以前に買って積んでおいた吉田武著『オイラーの贈物』という本だ。

高校生の頃から数学が苦手な、試験で24点などという点をとったことがある。普通はそれで数学嫌いになるのだから、自分の場合、分かる者には分かるのに自分にはどうしても理解できないものに対する憧れのようなものを感じた。

還暦になって、サラリーマンだったら定年だななどと思っていたら、もう61歳を通過していた。気が無くなる前に、自分が生きていくこの世界というものをもっと深く知りたいと思った。実際に読んでみると面白く、数学の本なのでもなかなか読み進められないし、読みながら寝てしまうこともたびたびだ。しかし、ゆっくりと考えながら読んでいけば高校程度の数学の知識で十分読みこなせるように書かれている。何より、著者の深い造詣から巧妙に配置された内容が、数学の美でも言えるようなものを感じさせてくれる。数学とはこんなに創意に満ちて豊かなものだったのかと、まるで絵画を鑑賞しているような感動を受けるのだ。

還暦になって、サラリーマンだったら定年だななどと思っていたら、もう61歳を通過していた。気が無くなる前に、自分が生きていくこの世界というものをもっと深く知りたいと思った。実際に読んでみると面白く、数学の本なのでもなかなか読み進められないし、読みながら寝てしまうこともたびたびだ。しかし、ゆっくりと考えながら読んでいけば高校程度の数学の知識で十分読みこなせるように書かれている。何より、著者の深い造詣から巧妙に配置された内容が、数学の美でも言えるようなものを感じさせてくれる。数学とはこんなに創意に満ちて豊かなものだったのかと、まるで絵画を鑑賞しているような感動を受けるのだ。

岩手県
いわて医報
No771より

グレープフルーツの思い出

高田 良子

果物が好きで冷蔵庫には、季節の果物が欠かさない。幼い頃住んでいた県南の田舎町には八百屋は一軒のみで野菜や干物はばかり。果物はせいぜいリンゴぐらいであったように思う。

バナナなどは見たこともなく、無論食べたこともなかった。当時、バナナは都会でもお金持ちか、病気になる時しか食べられない大変貴重な品であった。小学校入学前の就学時健診で、私は絵本に描かれていたバナナを見て「黄色いダイコン」と答えたらしい。一緒に付いてきた母は相当ショックだったらしい。それ以来父は東京出張のたびに、いろいろな果物(パイナップルやメロンなど)を買ってきて食べさせてくれた。

果物で鮮烈に覚えているのは、40年前(1997年)輸入自由化で大量に入ってきたグレープフルーツの登場である。アメリカから輸入される半年前から、テレビで頻りに流れるようになっていった。何人もの芸能人・有名人がハワイで食べたグレープフルーツがいかにおいしかったか自慢気に話していた。

果物で鮮烈に覚えているのは、40年前(1997年)輸入自由化で大量に入ってきたグレープフルーツの登場である。アメリカから輸入される半年前から、テレビで頻りに流れるようになっていった。何人もの芸能人・有名人がハワイで食べたグレープフルーツがいかにおいしかったか自慢気に話していた。

奈良県
奈良県医師新報
第763号より

夏休み屋下がり

松末 智

「きんぎょくえ、きんぎょ」 柱時計が三つ打った。父ががはっと起き、支度を始める。ステテコの上にスポンをばき、パナマ帽。大きな鞆を荷台にくり付け、ラビットスクーターでさっそうと出発した。今日は何軒くらい往診があるのだろうかと思送りのながら、眠そうに弟に虫かごを持たせ、網を担いで村鎮守の森目指して飛び出した。母の「暗くならないうちに帰るのよ」、祖母の「帽子被ったときや」を背に受け、「わかった」。

「きんぎょくえ、きんぎょ」 柱時計が三つ打った。父ががはっと起き、支度を始める。ステテコの上にスポンをばき、パナマ帽。大きな鞆を荷台にくり付け、ラビットスクーターでさっそうと出発した。今日は何軒くらい往診があるのだろうかと思送りのながら、眠そうに弟に虫かごを持たせ、網を担いで村鎮守の森目指して飛び出した。母の「暗くならないうちに帰るのよ」、祖母の「帽子被ったときや」を背に受け、「わかった」。

「きんぎょくえ、きんぎょ」 柱時計が三つ打った。父ががはっと起き、支度を始める。ステテコの上にスポンをばき、パナマ帽。大きな鞆を荷台にくり付け、ラビットスクーターでさっそうと出発した。今日は何軒くらい往診があるのだろうかと思送りのながら、眠そうに弟に虫かごを持たせ、網を担いで村鎮守の森目指して飛び出した。母の「暗くならないうちに帰るのよ」、祖母の「帽子被ったときや」を背に受け、「わかった」。

案内

筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群 国際学術シンポジウム

◆主催：NPO法人筋痛性脳脊髄炎の会
◆後援：日医、厚生労働省、日本神経学会他
◆日時：10月23日(日) 13時～18時
◆場所：東京大学鉄門記念講堂
◆テーマ：「注目される神経内科領域の疾患：筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群(ME/CFS)」
◆申込締切：定員(300名)になり次第、締め切る。

◆参加費：無料
◆参加対象：医療関係者(ただし、一般の方の参加も可)
◆申込方法：NPO法人筋痛性脳脊髄炎の会宛てに下記のメールアドレスから申し込み願いたい。

◆申込締切：定員(300名)になり次第、締め切る。

世界医師会(WMA)台北総会のご案内

WMA総会(10月19～22日、台湾・台北)の開催に併せて、会員の先生方を対象にWMA総会参加コースが企画されました。参加を希望される方は、下記までお問い合わせ下さい。

- ◆コース：東京(成田)発着コース、福岡発着コース(6日間)
- ◆期間：10月18日(火)～23日(日)
- ◆旅行金額：東京発着289,000円、福岡発着282,000円(エコノミークラス利用、別途要燃油サーチャージ等)
- ◆会議登録費：本人600ユーロ(69,000円)、同伴者300ユーロ(34,500円)(2016年7月13日現在レート適用)
- ◆会場：GRAND HYATT TAIPEI
- ◆申込締切：9月1日(木)
- ◆問い合わせ先：JTBコーポレートセールス虎ノ門第1事業部営業第2課(横山、香取、川口) Tel: 03-5539-2754 Fax: 03-5539-2755

◆主なプログラム…
・基調講演：「ME/CFSのバイオロジー」(アンソニー・コロフフバー) 米国神経学教授
・「世界ではME/CFSの研究はどこまで進んでいるのか」(篠原三恵) NPO法人筋痛性脳脊髄炎の会理事長
・「ME/CFSの分子標的治療開発のための仮想病態の提案」(ナンシー・クリマス) 国際ME/CFS学会前会長
・「ME/CFSの免疫療法に向けて：フローサ」 イトメーター解析(山村隆国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部長)
・「ME/CFSの症状緩和に有効な治療法：和温療法」(鄭忠和) 獨協医科大学特任教授/和温療法研究所長
・質疑応答
◆問い合わせ・申し込み先：NPO法人筋痛性脳脊髄炎の会
☎080-4082-6287
☎03-6915-9282
✉nawater@nec.tokai.ac.jp

書籍紹介

病院監査とはじめ

久道 茂 著



「業務監査」を行う監事がいない病院は、必要な業務監査が行われていないに等しい。

これは、病院管理者の経験を持ち、その後、国立がん研究センターの監事という大任を果たした著者が痛切に感じたことだという。2013年頃のデイトン事件を始めとする医学・医療界の不祥事の頻発を機に、置いておいた筆を再び持ち出し、書き終えたのが本書

著者は本書で、不祥事を起こさせないようにするために「ある一定以上の病床数規模の病院には業務監査を行う人を必ず置さなければならない。法律を改正してでもそのような仕組みをつくるべきです」と訴えている。

第3章「監事の役割と責任」、第4章「病院監査を始める前に」、第5章「業務監査のポイント」と、法に照らした業務監査を行うための手引書の形をとっている。医療業務、病院管理、医療倫理に知識や経験のある者、つまり医師による「病院の業務監査」の必要性が述べられている。

従来の医療法に規定された範囲にとらわれず、

待合室に貼って下さい

日医では、「日本医師会 赤ひげ大賞」の創設から5年目を迎えるに当たり、地域で活躍されている医師に対する患者さんからの応援メッセージを募集しています(本紙第1316号にポスター同封済み)。

なお、日医ホームページ(<http://www.med.or.jp/people/akahige/>)からもポスターのデータがダウンロード可能となっていますので、待合室に掲示頂くなど、メッセージ募集にご協力をお願いいたします。

日医広報課



「日本医師会 赤ひげ大賞」とは

日医と産経新聞社が主催し、「地域の医療現場で長年にわたり、健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にスポットを当てて顕彰すること」を目的として、ジャパンワクチン株式会社の特別協賛、厚生労働省、フジテレビジョン、BSフジの後援の下、平成24年に創設した賞。

現在、都道府県医師会に対して、5回目の候補者の推薦を依頼中である。

日本医師・従業員国民年金基金 案内

第11期役員及び新代議員が決定

日本医師・従業員国民年金基金の平成28年度第1回代議員会並びに理事会が7月21日、日医会館で開催され、新役員等が決定したので報告する。

理事 山科 幸夫
理事 三木 聡
理事 河原 郁夫
理事 蓮沼 剛
理事 瀬川 貴
理事 今村 定臣
監事 島田 潔
監事 清水 研吾
副理事長 清水 恵一郎
常務理事(兼)運用執行 富岡 悟
理事 滝澤 秀次郎
理事 小葉松 洋子
理事 日野原 眞一
理事 徳力 雅治

代議員 古家 敬三
代議員 江口 元治
代議員 持富 勇次
代議員 岡田 善胤
代議員 熊林御堂 隆
代議員 浅川 学
代議員 近藤 舞子
代議員 宮崎 晋

今後とも、当基金の業務運営に、ご支援賜りたくお願い申し上げます。

◆ 問い合わせは、基金事務局(☎0120-0700650)または、基金ホームページを参照。

訃報

■矢野 亨氏(元日医常任理事)



6月28日、死去、91歳。通夜及び密葬は近親者のみで執り行われた。

氏は大正14年群馬県出身。昭和28年前橋医科大学卒業。昭和35年旧大

問々町で開業。群馬県医師会理事を経て、昭和61年4月から平成8年3月まで日医常任理事を5期務めた。昭和63年藍綬褒章を、平成11年に勲三等瑞宝章をそれぞれ受章している。

なお、7月24日に群馬県みどり市内において、社会福祉法人希望の会による「徳ぶ会」が執り行われた。